



青い空 緑の山と風  
 黄色のうねりは  
 人類の理想 文化を表わす。  
 それらが混然一体調和して  
 ロータリーの理想に向って  
 昂って行く姿を示している。



# Weekly Report

クラブの標語 **多摩の礎となろう**  
 ...I serve の精神で...

- ②親クラブの週報が届いています。
- ③派遣学生の小野直美さんから近況報告が届いております。

◎前年度会務報告 直前会長 遠藤 二郎

- ①96-97年決算理事会を7月23日、決算報告を7月最終例会で行う予定でしたが、関係事務の都合上、10日間程延期させていただきます。
- ②前年度の絆工房の記録誌を作成するにあたって、感想文を募集いたします。一度でも参加した方は短くてかまいませんので、お寄せ下さい。

◎親クラブ（東京多摩RC）会長挨拶 久嶋 達也様

東京多摩RCの今年度のテーマは「協調と思いやりの心を」です。協調と和を基本に、それぞれの委員会を通してやっていきたいと思っております。ロータリーはそれぞれが友達で親睦が基本です。親睦が成り立った上にそれぞれの奉仕活動が成り立つものだと思います。また、9月2日（火）のガバナー訪問に際しましては、こちらを使わせていただきますので、その節はよろしくお願ひします。その他、3クラブ合同例会も計画しております。今年度一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

◎退会式（内田茂男様） 会長 吉澤 洋景

「内田様は我々の心に残る方で、活動にも良い影響を与えていただきました。残念ではございますが、後任にすばらしい方を紹介していただき、ありがとうございました。ご苦労様でした。」

内田様より挨拶

「入会をしたのが一昨年の12月でした。短い期間でしたが、最低の義務を果たそうと思っていました。ロータリークラブの理念として、四つのテストがありますが、これはまさに我々の行動の指針になるすばらしい信条だと思っております。また、多くの立派な方と出会い勉強になりました。卓話の中にも非常に感銘を受けたものがたくさんあり

## 第326回例会報告 (7/16)

(1997年～1998年度第3回例会)

- 司会 SAA委員会 飯島 裕美
- ◎点鐘 会長 吉澤 洋景
- ◎ロータリーソング「それでこそロータリー」  
ソングリーダー 津守 弘範
- ◎お客様紹介 会長 吉澤 洋景  
東京多摩RC会長 久嶋 達也様  
東京多摩RC幹事 水野 晴行様  
退会会員 内田 茂男様  
新入会員 中山 登様  
(株)ベネッセコーポレーション研究所所長 島内 行夫様
- ◎会務報告 会長 吉澤 洋景  
①7月11日にクラブ会員増強委員会が委員長と地区のクラブ合同で開催されました。当クラブからは会員増強委員長 中山恒武が出席しました。  
②本日第一回の米山奨学委員会が地区であります。当クラブからは、米山奨学事業委員長 山崎光一出席予定
- ◎幹事報告 幹事 村上 久  
①例会変更が届いています。

### 東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長：吉澤 洋景 委員：福島 達也・伊澤ケイ子  
 幹事：村上 久 加藤喜三郎・小泉 博  
 会報委員長：田畑 博 大熊 将夫・宿院 利幸  
 副委員長：中山順一郎 高村 弘  
 例会場 京王プラザホテル多摩（たまつばき）

事務局：東京都多摩市落合1-43  
 京王プラザホテル多摩 561号  
 TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

ました。残念ながら退会することになりましたが、後任の中山様は私以上に営業の第一線の経験が長く、ホスピタリティーを信条とした人ですので、私以上にお役に立つと思います。本当に短い期間でしたが、みなさまに心から感謝しております。」

・事務局（西川さんより）花束の贈呈がありました。

◎新入会員入会式 会員増強委員長 中山 恒武

①入会証書授与・バッジ貸与 会長 吉澤 洋景

②会員証授与 幹事 村上 久

③記念写真

④『四つのテスト』授与 職業奉仕委員長 横倉 舜三

⑤所属委員会とアドバイザーの指名 会長 吉澤 洋景

SAA委員会と青少年奉仕委員会、アドバイザーに遠藤立一会員と橋口洋三会員にお願いします。

⑥推薦の言葉 推薦者 内田 茂雄様

⑦新会員挨拶

「中山でございます。この度入会させていただき、ありがとうございました。私は小中学校の頃、ボーイスカウトに入っておりまして、社会奉仕を学びました。高校卒業の記念の言葉に『博愛』という言葉を残しております。人のために何をしようかということを生生活の基礎にしているつもりです。微力ですが、頑張っって参りますので、よろしくお願い致します。」

⑧歓迎の言葉 会長 吉澤 洋景

・歓迎ブーケ&拍手



委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦委員会 根本 泰守

多摩RC 久嶋会長・水野幹事

吉澤 洋景…多摩RC久嶋会長・水野幹事ようこそ。中山登さん入会おめでとうございます。

村上 久…内田さん長い間ご苦勞様でした。中山登さん入会おめでとうございます。

多摩RC久嶋会長・水野幹事ようこそ。今年1年よろしくお願ひします。

大松 誠二…多摩RC久嶋会長・水野幹事・御活躍期待しています。

中山 恒武…内田様残念であります。中山登様の入会を心より歓迎いたします。

遠藤 立一…内田さんご苦勞様でした。中山会員よろしく。関岡 俊二…内田さんいろいろお世話になりました。もう一度お手合せしたいものですね。

遠藤 二郎…中山登様入会おめでとうございます。内田さん色々お世話様でした。お元気で。

橋口 洋三…グリーンジャケットを作りましょう。作る方はサイズを来週教えて下さい。（4万円弱です）

宿院 利幸…橋本さんありがとうございました。

福島 達也…母校一回戦突破、コールド勝ち。

海野 榮一…腰痛が少し良くなりました。ゴルフもボチボチ始められそうです。

戸田 昭寿…娘のバレエを見に夫婦でロンドンへ行ってきました。ウィンブルドンテニスも迫力がありました。

根本 泰守…先週の原先生の卓話、何歳になっても希望と少しのお金があれば良いという話に共鳴して。

直前会長・出席・プログラム・親睦・SAA合同慰勞会の費用が余りましたので。

本日合計 金54,154円（累計 131,804円）

◎出席報告 出席委員会 佐伯 和廣

会員総数 56名

出席義務者数 56名

出席者数 47名 欠席者数 9名

本日出席率 83.93% (47/56)

7/9 訂正出席率 87.27% (48/55)

7/2 最終訂正出席率 90.91% (50/55)

欠席者 赤尾 恭雄、猪股 末男、北村 幸彦、

小城 章員、中山 順一郎、城倉 正博、田畑 博、  
高村 弘、高野 範城  
メイクアップ  
なし

◎社会奉仕委員会 委員長 小林 和夫

- ①社会を明るくする運動のパレードが7月20日にあります。
- ②日本ユネスコ連盟より、書き損じのハガキを集めています。50円のハガキが45円になります。封筒に入れて、来年の2月まで募集しておりますので、御協力をよろしくお願ひします。

卓 話「ベネッセコーポレーションの教育事業について」

(株)ベネッセコーポレーション教育研究所所長  
島内 行夫様

本日はお招きいただきありがとうございました。ベネッセの業務内容をお話いたします。1995年に(株)福武書店から社名変更いたしました。ベネッセとはラテン語のベネ(よく)とエッセ(生きる)を組み合わせで作ったものです。それぞれのライフステージの中で“よく生きる”ために教育・文化・福祉という3つの柱を立てております。教育では、進研ゼミが会員380万人に及びます。福祉の方では高齢化社会の中で民間のサービスとして、介護事業や託児施設等を柱としております。文化の面では出版に力を入れております。

96年の総売上は1,883億円です。経常利益は207億円です。従業員は1,500人位です。

誕生は昭和30年、岡山の地に先代社長、福武哲彦が設立しました。福武は小学校の教員をやっておりました。その後一度倒産した経験から、現金を大切にすることを度々口にしておりました。始めは生徒手帳や小さな出版をやっており、その後模擬試験をやり、1973年から進研ゼミがスタートしました。私が入社した時の印象は企業というより、学校というような会社だと感じました。また、当社は、非常にオープンな会社であります。毎回『私の記録』というものを書き、社長に提出しておりました。それを社長が見て、赤ペンで言葉を入れられたものが返される毎日でした。今も管理職以上の者で続けております。

1994年多摩の地に移り、1995年社名を変更して、東証二部に上場いたしました。

いろいろな事業において、“お客さまの声を聞け”というスタイルをとっております。教育とはコミュニケーションであり、コミュニケーションを通して人々の向上意欲に貢献していきたいと考えています。

多摩のビルの特徴は、電話をフロアごとのセクレタリー制にして、フロアごとに集中管理している点。もう一つは、Qタイム制(QUIET制)をひいて、午後1時30分～3時30分まで会議をしないようにしています。これは一人になって考えを深めるという発想から生まれたものです。さらにスーパーフレックス制にして、一人一人の都合を考えて業務を行っております。また、従業員向けに託児所を設けて、子供を持った方に対応しています。

◎お礼 会長 吉澤 洋景  
◎点鐘 会長 吉澤 洋景

耳よりな情報 パート1

今年9月10日から12日までの3日間、すぐ近くの中央大学において土木学会全国大会が開催されます。これは土木系工学系の世界では一番ビックなイベントで、3日間でおよそ3万人の研究者や学生が、日本全国及び海外からもやって来ます。全国大会は毎年1回、各地方を持ち回りして行なわれるため、関東での開催は14年振りとなります。

21世紀を目前にして我が国は国際化、高度情報化、高齢化、環境問題、産業の空洞化など経済社会が大きく変わりつつあり、世間では社会資本整備の在り方を問う声もあります。これらの変化を踏まえつつ、国民のニーズや批判に的確に答えていくため、我々研究者達が日頃の成果や新開発を発表する、それはそれは世紀の集いなのです。地震について最新情報を知りたい方、環境ビジネスを模索している方、道路や都市計画や技術に興味のある方、どなたでも参加出来ますのでどうぞお気軽にご参加下さい。ちなみに今回、私の論文の発表は共同執筆者に委ねましたので、あらかじめ御了承下さい。

プログラムの欲しい方は福島までどうぞ!!

(今週の担当 福島)